

今日も地域で頑張っています！！

～いつも各地の大会会場で頑張っている方々を紹介します～

2016年10月1日(土)高瀬町運動広場

千葉県内では様々な大会が開催されていますが、そこで日頃から活躍している審判の方々にスポットを当てて取材しました。今回は船橋市サッカー協会審判委員会の皆さまが「高瀬町運動広場」のこけら落としに参加した審判の方々にインタビューしました。

- ①:氏名(敬称略) ②:審判歴 ③:審判になったきっかけは?
④:上級(4級→3級、3級→2級)を目指した理由は? ⑤:これだから辞められない審判の魅力とは?



～ 船橋市サッカー協会審判委員会の皆さま ～



- ① 土屋 啓三(つちや けいぞう)
- ② 約25年
- ③ 長男が学校でサッカー部に入っていましたが、先生が転任され、社会体育となり帯同審判が必要で資格を取りました。
- ④ 長男が中学生になった頃、上級者が少なく、色々な試合でも審判が出来るように上級を目指しました。
- ⑤ いろいろなカテゴリーで、選手と一緒に、仲間と共に、サッカーを楽しめるのが魅力です。



- ① 谷田 正利(たにだ まさとし)
- ② 約11年
- ③ 子供の所属チームの帯同審判員が必要となり取得しました。
- ④ 4級を取得した当時、子供の所属チームが弱く、自分で何がチームに貢献できるかを考えまして、まずは帯同審判員として頑張ろうと上級を目指しました。また、上級の方の試合を見て、自分もあの様なレフェリーになりたいと思い、さらに上級を志しました。
- ⑤ たくさん魅力はありますが、最近特に感じますのは、4種時代にチームと一緒に過ごした選手、あるいは戦った選手(子供たち)たちと高校、大学、社会人の試合のピッチと一緒に(審判員として)に立てた時です。どんな、立場、環境であれサッカーを続けていく、携われる事は素晴らしいです。



- ① 清水賢一郎(しみずけんいちろう)
- ② 約27年 20年表彰をいただいたときはこれで終わりかなと思っていましたが、今は30年目指してがんばりたいと思っています。
- ③ チーム帯同と自分のサッカーのために4級を取得しました。
- ④ 選手としてプレーが出来なくなってこのまま、飲んだくれ親父になるのもいやだなと思ったことと、2級の定年がなくなったことが大きいですね。
- ⑤ なんとと言っても、一番近くにいられることでしょうか、観て楽しむというか(そんな余裕ないし)、その試合に関係者として関わることが魅力的だと思います。それと試合終了後に、選手から「ナイスレフェリー」とか「お疲れさま！」と言われたときですね、夜のビールがうまいこと(笑) もっとも滅多にないですけど・・

強化部より ～ 今年度は心機一転新たにスタートします ～

強化部 部長 堀川栄多

はじめに

昨年度も皆さまのお陰で無事にシーズンを終えることができました。この場を借りてお礼申し上げます。昨年度、強化部では新たな取り組みとして、2級審判員を対象を絞って活動を行いました。2級審判員の皆様には、現場での実地を主体とした更新講習会を始め各種研修会に参加頂き誠に有難うございました。今年度から強化部は新設された統括部のもと、更にターゲットを絞って(2級審判員のうち強化審判員を対象)活動することになりました。資格の更新業務は育成部、昇級の予備審査業務は普及部へ引継ぐことになり、皆様方にはご迷惑おかけしますが何卒ご了承のほどお願い致します。

今年度の重点目標

早速ですが今年度の強化審判員に対する指導重点目標は『正しい判定をする為の、動きとポジショニング』と致します。これは3月上旬に開催された関東開幕前研修会で掲げられたものと同じです。これまで県内では『判定精度の向上』と『フィットネスの強化ニタフなフィジカル』を柱に指導を展開していました。今年は関東に直結する強化審判員に対して県内においても同じ目標を設定しました。対象の強化審判員には、テーマを達成するために課題を整理し、問題点を解消するため自らが考え、積極的に行動してくれることを期待しています。また、強化部ではこの手助けを『レフェリーズファースト』の精神で関係部署と連携して邁進致します。

行事予定(強化部主催)

今年度、前述のテーマを受けて強化部では、2級強化審判を対象に以下の事業を実施する予定です(指導関連部署;普及部、育成部、インストラクター部と合同で実施することがあります)。昨年度10名いた部員を2名に縮小したため研修会の講師や実地指導の場では県所属の上級インストラクターにご協力頂きながら活動していく予定です。

(1)研修会(座学)

- ①4月2日 第1回強化研修会 観戦、座学(天皇杯代表決定準決勝)
- ②8月 第2回強化研修会 座学+実技(前期振り返り、夏期県外報告等)
- ③12月 第3回強化研修会 座学(シーズン振り返り)
- ④1月 第4回強化研修会(シーズン前トレーニング)
- ⑤3月 第5回強化研修会(開幕前研修会)

(2)研修会(実技)

- ①5月 関東高校予選(日帰り)
- ②6月 インターハイ予選(日帰り)
- ③10月 高校選手権県予選(宿泊)
- ④2月 2種新人戦(日帰り)

(3)一般候補サポート

適宜指導者派遣

(4)ビデオ分析(新規)

強化審判員を対象に1回/月/人程度を目安にクラウドサービスを利用したビデオ分析



関東強化審判員

先日、今年度の関東強化審判員が決定したので、このうち千葉県の男子について以下の通りお知らせ致します(敬称略)。

関東指導部は今年度より(関東)割り当てを担当する2級審判員をG1～G8の8つのグループに再編しました。指導については上位グループの審判員でチームを編成し、それぞれのチームにコーチを配置して継続的に指導する計画が打ち出されています(今年度はG3まで)。指導者側がこのような体制を敷く以上、審判員も技量以前の問題として取組み姿勢が問われています。具体的には2試合/月以上の関東主審での活動(ノルマ)と試合開催日の活動可能率について6割以上(目安)が求められています。

また、今年度は千葉県から上田千尋さんが女子1級にチャレンジします。久々の女子1級審判員の排出へ向けて審判委員会が一丸となって確りとサポートしていく予定です。

女子1級受験	上田千尋
G1(1級受験)	なし
G2(特別強化)	松田卓磨
G3(強化審判)	石原美彦、森田秀一
G4(都県強化)	水間健太、永島淳平、柳澤健太
G5(30歳以下)	中島智広、竹中健太、久保田海斗、平野裕大、小倉敬右、友成圭太
G6(30歳以上強化)	村上匡、木原裕之、村上勝則、飯山 成利
G7(30歳以上)	八木下健司、山崎久、池田浩康、矢埜真二、伊東洋、室田智広
G8(ユース)	なし

おわりに

最後になりましたが今年度も皆さまが健康でケガ無く審判活動に励んでいただき、昨年以上にご活躍されることを心より願っております。また、県内の審判の強化等に関わる事案について、ご意見・ご要望がございましたら堀川(e.horikawa@jcom.home.ne.jp)までお寄せ下さい。特に指導者の皆様におかれましては是非とも千葉からトップレフェリーの輩出を目指して最良の審判員を持っていただき、ポジティブ・ネガティブ問わずたくさんの情報をお寄せ頂きたいと思っております。些細な事でも結構なので審判員の成長に繋がる厳しいご意見を24時間・365日心よりお待ちしております。

